



平成 18 年 10 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 ケンウッド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6765 東証 第一部)
問合せ先 執行役員上席常務 CFO 多木 宏行
(TEL 042-646-6724)

平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)における単体の経常利益および中間純利益が本年 5 月 19 日 (金)に公表した予想数値を 30%以上上回る見通しとなったため、適時開示規則に基づき、下記のとおり業績予想を修正いたします。

現在、連結決算上の調整などの精査を進めており、若干の変更が予想されますので、中間期業績は 11 月 10 日 (金)に発表する予定です。また、通期業績予想につきましても、中間決算発表時にお知らせする予定です。

1.平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)業績予想数値の修正

(1)単体業績予想数値の修正

(単位 :百万円)

	売上高	経常利益	中間 (当期) 純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 19 日発表)	60,000	900	1,000
今回修正予想 (B)	60,000	1,200	1,400
増減額 (B - A)	-	+ 300	+ 400
増減率 (%)	-	+ 33.3%	+ 40.0%
前期 (平成 18 年 3 月期中間期) 実績	66,860	1,012	3,524

(2)連結業績予想数値の修正

(単位 :百万円)

	売上高	経常利益	中間 (当期) 純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 19 日発表)	85,000	2,000	1,500
今回修正予想 (B)	82,000	2,000	1,600
増減額 (B - A)	3,000	-	+ 100
増減率 (%)	3.5%	-	+ 6.7%
前期 (平成 18 年 3 月期中間期) 実績	90,069	1,529	2,897

中間期の連結営業利益につきましては、当社従来予想の 28 億円を 15%前後上回る見通しです。

2.修正の理由

(1)単体業績予想修正の理由

一部の海外子会社の業績改善にともない、子会社の配当金が予想を上回って発生する見込みとなったことから、単体の経常利益が従来予想を上回る見通しです。

加えて、同じく一部の海外子会社の業績改善にともない、過年度に計上した子会社投資損失引当金に対する戻入益が予想を上回って発生する見込みとなったことから、単体の中間純利益が従来予想を上回る見通しです。

なお、これらは単体業績にのみ計上されるものであり、連結業績には影響いたしません。

(2)連結業績予想修正の理由

カーエレクトロニクス事業の売上高が、市販分野における市場競争の激化や OEM 分野における自動車販売動向の影響を受けて予想を下回る見込みとなったことから、連結売上高は従来予想を若干下回る見通しです。

しかしながら、連結営業利益については、カーエレクトロニクス事業の市販分野が予想以上に競争激化の影響を受けているものの、OEM 分野とホームエレクトロニクス事業で損益改善が進んでいることや、コミュニケーションズ事業が引き続き好調に推移していることから、全体では当社従来予想の 28 億円を 15%前後上回り 32 億円前後となる見通しです。

連結経常利益については、一部の海外子会社における為替の影響や過年度の特許料が予想を上回り、営業外損益に影響する見込みとなったため、営業増益分を相殺して従来予想どおりとなる見通しです。

また、連結中間純利益については、経常利益における上記要因はあるものの、有価証券売却益などの特別利益が予想を上回る見込みとなったことから、従来予想を若干上回る見通しです。

以上

【注意事項】

上記の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりえることをご承知おきください。したがって、これらの見通しにのみを依拠した判断をされることはお控えいただきようお願いいたします。